

東日本大震災から8年。

福島の今を知っていますか。

おいしい農産物や魅力ある観光地。
たくさんの笑顔にあふれています。

さらに、未来に向けた取組みも。

知ってください、食べてください、来てください。
福島の今、福島の未来。



福島の魅力や未来などを紹介する
WEBサイトができました。

放射線について、
タブレット先生が
わかりやすく教えてくれる
コンテンツもあります。

ぜひご覧ください。

復興庁 タブレット先生



このリーフレットに関するご意見はこちらまで
info-senryaku@cas.go.jp

すくすく育つ子どものために、
知っておきたいことがある。

いまどきママパパの 基礎知識 <放射線について>

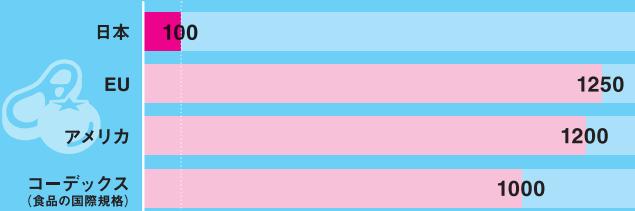


放射線について ちょっと気になること ありませんか？

そろそろ子どもも、大人と同じ食べ物を口にするようになってきました。ただ震災後、食べ物への放射線の影響が気になっているのですが…

日本は世界で最も厳しいレベルの基準を設定して食品の検査をしています。その基準を超えた場合は売場に出ないようになっています。

一般食品中の放射性物質に関する基準等（ベクレル/kg）^(注)



【出典】「放射線リスクに関する基礎的情報」を基に復興庁作成

(注) ○グラフに示した数値は、この値を超えた場合は食品が市場に流通しないように設定されている基準等の値です。数値は、食品から受ける線量を一定レベル以下に管理するためのものであり、安全と危険の境目ではありません。各国で食品の摂取量や放射性物質を含む食品の割合の仮定値等の影響を考慮してありますので、単に数値だけを比べることはできません。

○日本では放射性物質を含む食品の割合の仮定値を高く設定していること、年齢・性別毎の食品摂取量を考慮していること、放射性セシウム以外の核種の影響も考慮して放射性セシウムを代表として基準値を設定していることから、基準値の数値が海外と比べて小さくなっています。



放射線を受けると、
健康に良くないんですね？



そもそも放射線は、空気や、みなさんの身体の中にもあり、身のまわりからゼロにすることはできないものです。知っていただきたいのは、放射線の健康への影響は、放射線を受ける・受けないではなく受ける「量」が問題だということ。ふだんの身のまわりの量はわずかなので、健康への影響はありません。また、ウイルスのように人から人にうつるものではありません。

家族旅行で、
福島に行こうと思っています！



福島県内の主要都市の放射線量は、いまでは東京とも、シンガポールとも変わらないくらいです。復興支援のためにも、ぜひ訪れてください！

